



# 2024年3月期 第1四半期 決算説明資料

2023年8月9日

石油資源開発株式会社  
(証券コード：1662)

# 目次

---

## I. 業績ハイライト

## II. 2024年3月期 第1四半期決算の概要

## III. 2024年3月期 業績予想の概要

※本資料は2023年8月10日開催予定の機関投資家およびアナリスト向け決算説明会資料を兼ねております。

---

# I. 業績ハイライト

## II. 2024年3月期 第1四半期決算の概要

## III. 2024年3月期 業績予想の概要

## 業績ハイライト

## 24年3月期 第1四半期決算（前年同期比）

単位：億円	23/3月期 1Q (a)	24/3月期 1Q (a)	比較増減
営業利益	98	<b>129</b>	+30
経常利益	226	<b>182</b>	△43
親会社株主に帰属する 四半期純利益	156	<b>129</b>	△26

- **営業利益** : 国内天然ガス販売価格の上昇、アメリカ・タイトオイル開発の販売量増加などにより増益
- **経常利益** : 持分法投資利益や為替差益の減少

## 株主還元

- 1株当たりの配当は前回予想と変わらず年間200円（中間100円+期末100円） ※ 連結配当性向 30%に基づく

## 主な事業進捗

- ノルウェー領海上鉦区探鉦・開発事業を推進する英ロングボート・エナジー社子会社（LBJ）への資本参加決定（5月）
- アメリカ・タイトオイル開発の追加坑井権益取得（5月）
- JOGMEC令和5年度「先進的CCS事業の実施に係る調査」公募において、苫小牧エリアおよび東新潟エリアにおけるCCS実現可能性調査を受託（7月、8月）

## 24年3月期 業績予想修正（5/12公表予想比）

単位：億円	5/12公表 予想 (f)	8/9公表 予想 (f)	比較増減
営業利益	412	<b>389</b>	△23
経常利益	455	<b>448</b>	△7
親会社株主に帰属する 当期純利益	340	<b>340</b>	-

- **営業利益** : 英領北海・シーガルプロジェクトの生産開始時期の遅れに伴う販売量減少を見込む
- **経常利益** : 為替差益の計上を見込む

---

I. 業績ハイライト

II. 2024年3月期 第1四半期決算の概要

III. 2024年3月期 業績予想の概要

## 決算概要【前年同期比】

単位：百万円	23/3月期 1Q (a)	24/3月期 1Q (a)	増減	
売上高	58,617	<b>61,321</b>	+2,704	+5%
売上総利益	16,696	<b>20,508</b>	+3,812	+23%
営業利益	9,810	<b>12,903</b>	+3,093	+32%
経常利益	22,600	<b>18,219</b>	△ 4,381	△19%
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,640	<b>12,999</b>	△ 2,640	△17%

## 原油価格・為替

		23/3月期 1Q (a)	24/3月期 1Q (a)	増減
WTI	USD/bbl	94.41	<b>76.11</b>	△18.30
原油CIF(JCC)	USD/bbl	101.55	<b>85.17</b>	△16.38
為替	円/USD	122.50	<b>134.36</b>	+11.86

## E&amp;P事業 販売実績【前年同期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	23/3月期 1Q (a)		24/3月期 1Q (a)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
E&P事業	-	-	7,266	-	10,724	-	-	+3,458	+48%

(内訳)

原油	千KL	79	7,251	152	10,608	+73	+93%	+3,356	+46%
- 国産原油		67	5,640	50	3,700	①	△16 △25%	△1,939	△34%
- 海外原油* <sup>1</sup>		7	1,192	97	6,532	②	+90 +1,291%	+5,339	+448%
- 買入原油		5	418	5	375		△0 △2%	△43	△10%
天然ガス・海外販売* <sup>2</sup>	百万M3	0	14	10	116	+9	+1,312%	+101	+701%

## 主な増減要因

- ①販売量の減少および販売価格の下落
- ②アメリカ・タイトオイル開発の販売量の増加

\*1 海外連結子会社 株式会社ジャベックスグラフおよびJapex (U.S.) Corp. の数値

\*2 海外連結子会社 Japex (U.S.) Corp. の数値

# インフラ・ユーティリティ事業 販売実績【前年同期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	23/3月期 1Q (a)		24/3月期 1Q (a)		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量		売上高	
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	36,009	-	36,398	-	-	+388	+1%

(内訳)

天然ガス・国内販売	百万M3	231	17,923	202	20,200	△29	△13%	① +2,277	+13%
- 国産天然ガス		109	-	102	-	△7	△7%	-	-
液化天然ガス	千トン	49	6,062	30	1,498	② △18	△37%	△4,563	△75%
電力	百万kWh	665	10,986	774	13,137	③ +108	+16%	+2,150	+20%
その他*	-	-	1,037	-	1,561	-	-	+524	+51%

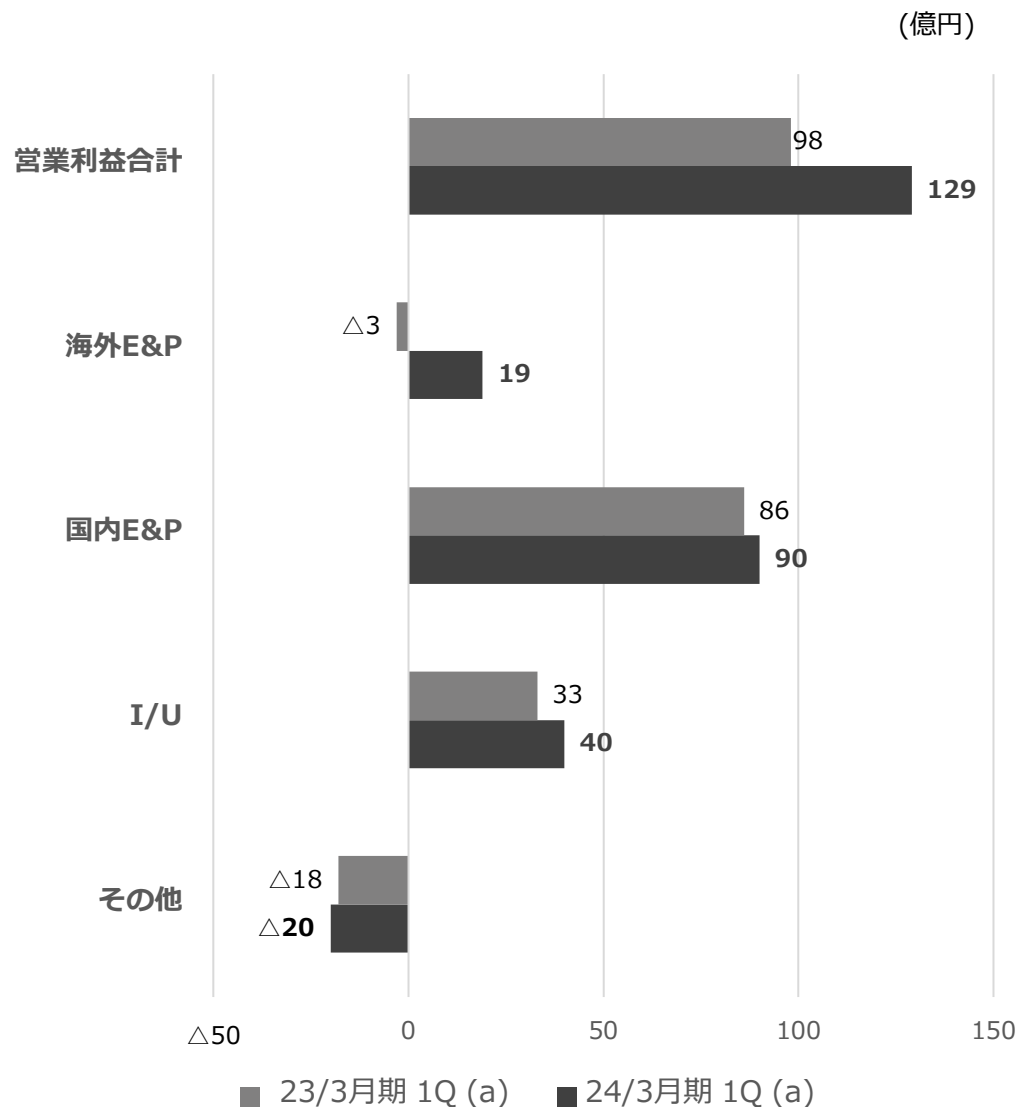
## 主な増減要因

- ①国内ガス販売価格の上昇
- ②販売量の減少など
- ③販売量の増加および販売価格の上昇

\* 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む



# 営業利益概要【前年同期比】



## E&P事業

- (海外) : +22億円 (△3億円 → 19億円)**
- アメリカ・タイトオイル開発の販売量増加 (+)
- (国内) : +3億円 (86億円 → 90億円)**
- 国産原油販売量減少および販売価格下落 (-)
  - 国産天然ガス販売価格\*上昇 (+)

\* 当社内部管理上のE&P事業からインフラ・ユーティリティ事業への取引価格

## インフラ・ユーティリティ(I/U)事業

- +6億円 (33億円 → 40億円)**
- LNG調達差益の減少など (-)
  - 原料スライドタイムラグ影響など (+)

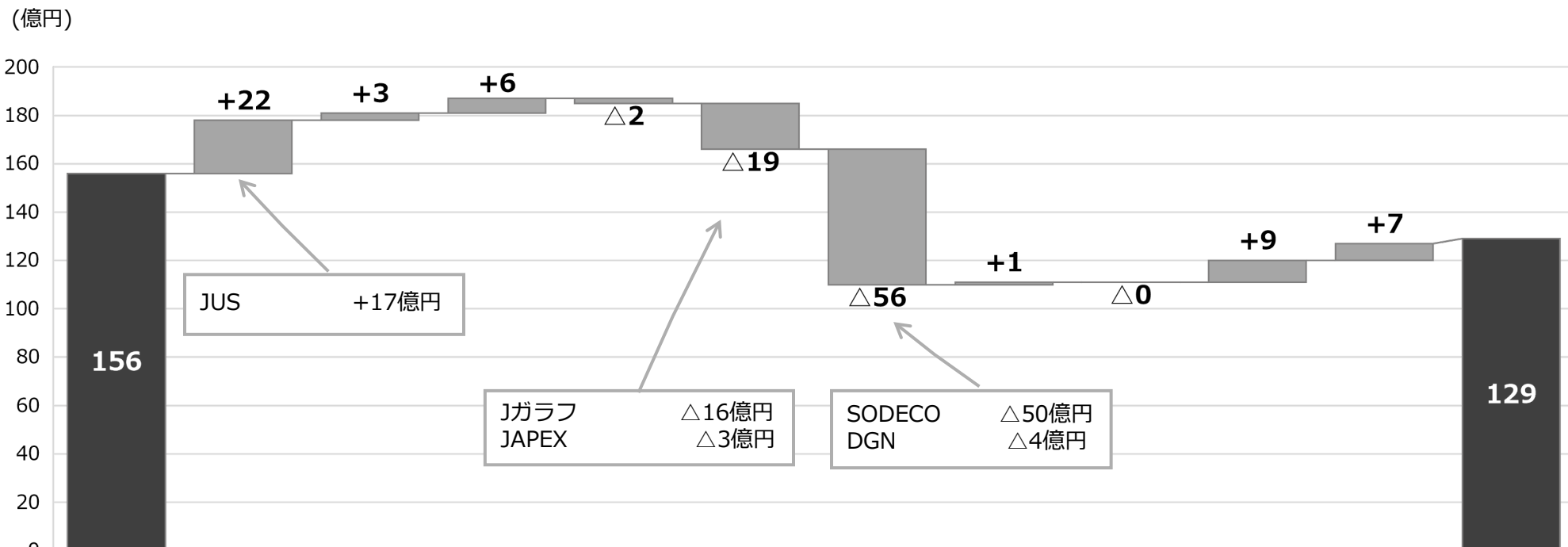
## その他※

**△2億円 (△18億円 → △20億円)**

※ 上記事業部門に属さない営業利益（請負、石油製品・商品等）から本社管理費を控除した金額

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

# 純利益増減分析【前年同期比】



純利益	営業利益* +30億円					営業外損益 △74億円					純利益
-----	-------------	--	--	--	--	-------------	--	--	--	--	-----

	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替差損益	持分法投資損益	その他	特別損益	法人税等	非支配株主利益	
23/3月期 1Q (a)	△3	86	33	△18	67	59	0	△0	53	16	23/3月期 1Q (a)
24/3月期 1Q (a)	19	90	40	△20	47	3	2	△0	43	8	24/3月期 1Q (a)

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

---

I. 業績ハイライト

II. 2024年3月期 第1四半期決算の概要

III. 2024年3月期 業績予想の概要

## 業績予想修正【5.12公表予想比】

単位：百万円	前回予想 (f) 5.12公表	今回予想 (f) 8.9公表	増減	
売上高	300,600	<b>306,100</b>	+5,500	+2%
売上総利益	75,300	<b>74,200</b>	△ 1,100	△1%
営業利益	41,200	<b>38,900</b>	△ 2,300	△6%
経常利益	45,500	<b>44,800</b>	△ 700	△2%
親会社株主に帰属する当期純利益	34,000	<b>34,000</b>	-	-%

## 原油価格・為替の前提

		前回予想 (f) 5.12公表	今回予想 (f) 8.9公表	増減
WTI	USD/bbl	75.00	<b>75.60</b>	+0.60
原油CIF(JCC)	USD/bbl	75.00	<b>77.45</b>	+2.45
為替	円/USD	125.00	<b>131.16</b>	+6.16

# E&P事業 販売予想修正【5.12公表予想比】

売上高単位：百万円	販売量単位	前回予想 (f) 5.12公表		今回予想 (f) 8.9公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量		売上高	
E&P事業	-	-	91,724	-	93,514	-	-	+1,789	+2%

(内訳)

原油	千KL	1,589	88,964	1,591	91,549	+2	+0%	+2,584	+3%
- 国産原油		206	12,410	206	13,255	△0	△0%	① +845	+7%
- 海外原油*1		1,364	75,431	1,367	77,110	② +3	+0%	+1,678	+2%
- 買入原油		18	1,122	17	1,183	△0	△4%	+60	+5%
天然ガス・海外販売*2	百万M3	95	2,760	86	1,965	③ △8	△9%	△794	△29%

## 主な増減要因

- ① 販売価格の上昇
- ② 英領北海・シーガルプロジェクトの生産開始時期の遅れに伴う販売量減少 / イラク・ガラフ油田 販売量の増加
- ③ 英領北海・シーガルプロジェクトの生産開始時期の遅れに伴う販売量減少

\*1 海外連結子会社 株式会社ジャベックスガラフ、Japex (U.S.) Corp.およびJAPEX UK E&P Ltd.の数値

\*2 海外連結子会社 Japex (U.S.) Corp.およびJAPEX UK E&P Ltd.の数値

# インフラ・ユーティリティ事業 販売予想修正【5.12公表予想比】

売上高単位：百万円	販売量単位	前回予想 (f) 5.12公表		今回予想 (f) 8.9公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	147,305	-	<b>150,567</b>	-	-	+3,262	+2%

(内訳)

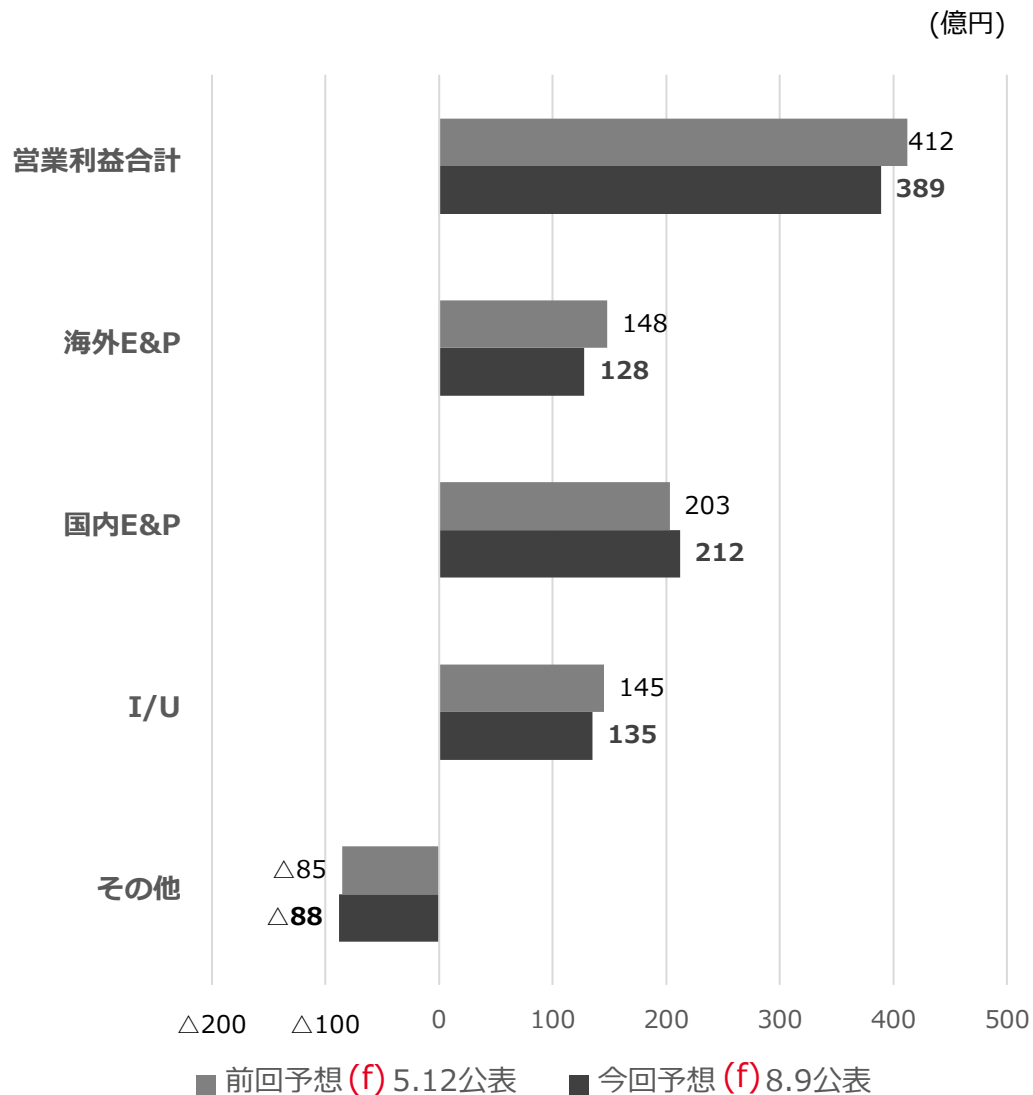
天然ガス・国内販売	百万M3	996	77,288	<b>976</b>	<b>78,775</b>	△19	△2%	<b>① +1,487</b>	+2%
- 国産天然ガス		470	-	<b>459</b>	-	△11	△2%	-	-
液化天然ガス	千トン	223	19,738	<b>218</b>	<b>19,291</b>	△4	△2%	△446	△2%
電力	百万kWh	3,021	43,445	<b>3,137</b>	<b>46,126</b>	<b>② +115</b>	+4%	+2,681	+6%
その他*	-	-	6,833	-	<b>6,373</b>	-	-	△460	△7%

## 主な増減要因

- ①販売価格の上昇
- ②販売量の増加および販売価格の上昇

\* 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

# 営業利益概要【5.12公表予想比】



### E&P事業

**(海外) : △19億円 (148億円 → 128億円)**

- 英領北海・シーガルプロジェクトの生産開始時期の遅れに伴う販売量減少 (-)

**(国内) : +9億円 (203億円 → 212億円)**

- 原油価格上昇による国産原油の販売価格上昇 (+)

\* 当社内部管理上のE&P事業からインフラ・ユーティリティ事業への取引価格

### インフラ・ユーティリティ事業 (I/U)

**△10億円 (145億円 → 135億円)**

- LNG調達差益の減少 (-)

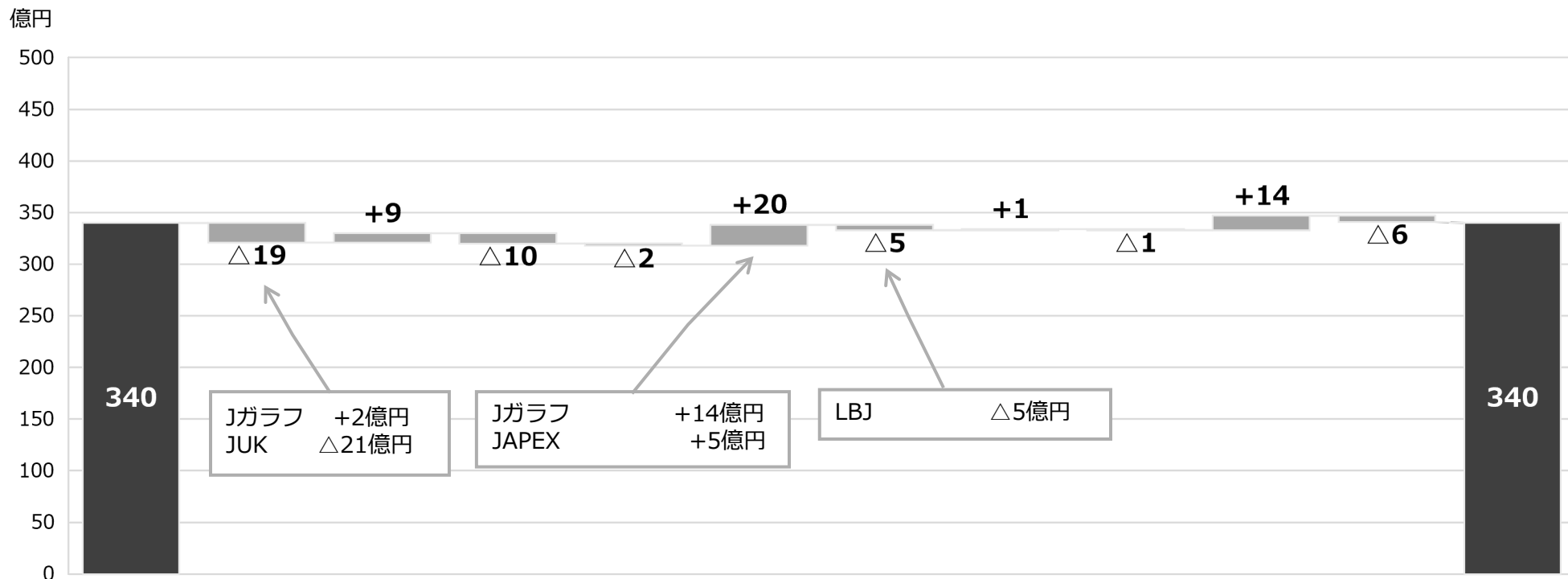
### その他※

**△2億円 (△85億円 → △88億円)**

※ 上記事業部門に属さない営業利益 (CN分野、請負、石油製品・商品等) から本社管理費を控除した金額

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

# 純利益増減分析【5.12公表予想比】



純利益	営業利益* △23億円					営業外損益 +16億円					純利益
前回予想(f) 5.12公表	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替 差損益	持分法 投資損益	その他	特別損益	法人税 等	非支配 株主利益	今回予想(f) 8.9公表
前回予想(f) 5.12公表	148	203	145	△85	-	8	34	-	112	3	
今回予想(f) 8.9公表	128	212	135	△88	20	3	36	△1	98	9	

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値



## 業績予想【前期比】

単位：百万円	23/3月期 (a)	24/3月期 (f) 8.9公表	増減	
売上高	336,492	<b>306,100</b>	△ 30,392	△9%
売上総利益	96,111	<b>74,200</b>	△ 21,911	△23%
営業利益	62,085	<b>38,900</b>	△ 23,185	△37%
経常利益	83,130	<b>44,800</b>	△ 38,330	△46%
親会社株主に帰属する当期純利益	67,394	<b>34,000</b>	△ 33,394	△50%

## 原油価格・為替の前提

		23/3月期 (a)	24/3月期 (f) 8.9公表	増減
WTI	USD/bbl	94.42	<b>75.60</b>	△18.82
原油CIF(JCC)	USD/bbl	102.26	<b>77.45</b>	△24.81
為替	円/USD	132.86	<b>131.16</b>	△1.70

# E&P事業 販売予想【前期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	23/3月期 (a)		24/3月期 (f) 8.9公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量		売上高	
E&P事業	-	-	56,063	-	93,514	-	-	+37,451	+67%

(内訳)

原油	千KL	695	55,703	1,591	91,549	+895	+129%	+35,846	+64%
- 国産原油		238	20,760	206	13,255	① △31	△13%	△7,504	△36%
- 海外原油 *1		436	33,084	1,367	77,110	② +930	+213%	+44,025	+133%
- 買入原油		20	1,858	17	1,183	△3	△16%	△674	△36%
天然ガス・海外販売 *2	百万M3	11	360	86	1,965	③ +75	+655%	+1,604	+445%

## 主な増減要因

- ①販売量の減少および販売価格の下落
- ②アメリカ・タイトオイル開発およびイラク・ガラフ油田の販売量の増加、英領北海・シーガルプロジェクトの生産開始に伴う販売量の増加
- ③アメリカ・タイトオイル開発の販売量の増加、英領北海・シーガルプロジェクトの生産開始に伴う販売量の増加

\*1 23/3月期は海外連結子会社 株式会社ジャペックスガラフおよびJapex (U.S.) Corp. の数値、24/3月期は株式会社ジャペックスガラフ、Japex (U.S.) Corp.およびJAPEX UK E&P Ltd.の数値

\*2 23/3月期は海外連結子会社 Japex (U.S.) Corp. の数値、24/3月期はJapex (U.S.) Corp.およびJAPEX UK E&P Ltd.の数値

# インフラ・ユーティリティ事業 販売予想【前期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	23/3月期 (a)		24/3月期 (f) 8.9公表		増減			
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高		
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	213,657	-	150,567	-	-	△63,090	△30%

(内訳)

天然ガス・国内販売	百万M3	989	97,360	976	78,775	△12	△1%	① △18,584	△19%
- 国産天然ガス		461	-	459	-	△2	△0%	-	-
液化天然ガス	千トン	340	51,572	218	19,291	② △121	△36%	△32,281	△63%
電力	百万kWh	3,005	58,735	3,137	46,126	+131	+4%	③ △12,608	△21%
その他*	-	-	5,988	-	6,373	-	-	+384	+6%

## 主な増減要因

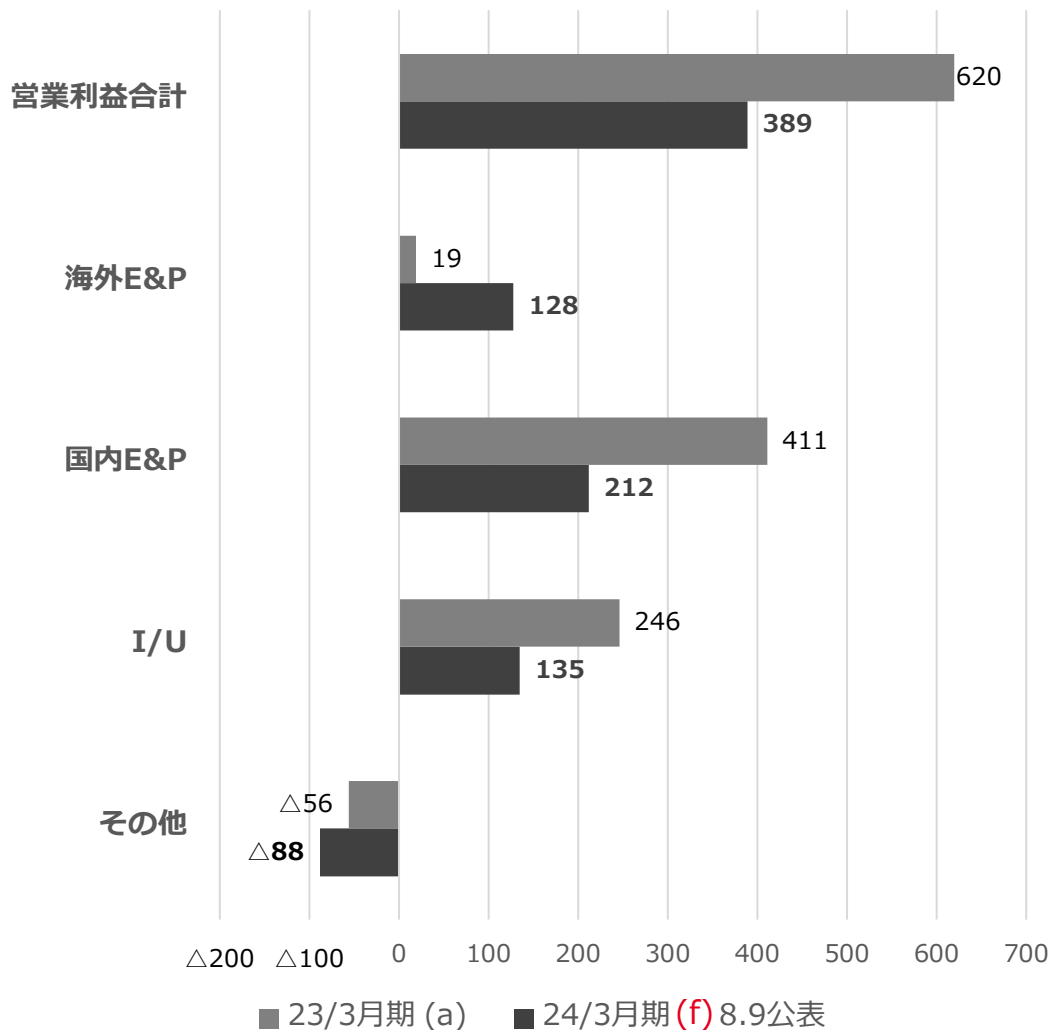
①-②JLC価格下落による国内ガスおよびLNG販売価格の下落、LNG販売量の減少

③販売価格の下落

\* 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

# 業績予想 営業利益概要【前期比】

(億円)



## E&P事業

**(海外) : +109億円 (19億円 → 128億円)**

- アメリカ・タイトオイル開発の販売量増加 (+)
- 英領北海・シーガルプロジェクトでの生産開始に伴う販売量増加 (+)
- 子会社Jガラフにおける一過性費用の剥落 (+)

**(国内) : △199億円 (411億円 → 212億円)**

- 国産原油販売量減少および販売価格下落 (-)
- JLC下落に伴う国産天然ガス販売価格\*下落 (-)

\* 当社内部管理上のE&P事業からインフラ・ユーティリティ事業への取引価格

## インフラ・ユーティリティ事業 (I/U)

**△110億円 (246億円 → 135億円)**

- LNG調達差益の減少など (-)

## その他※

**△31億円 (△56億円 → △88億円)**

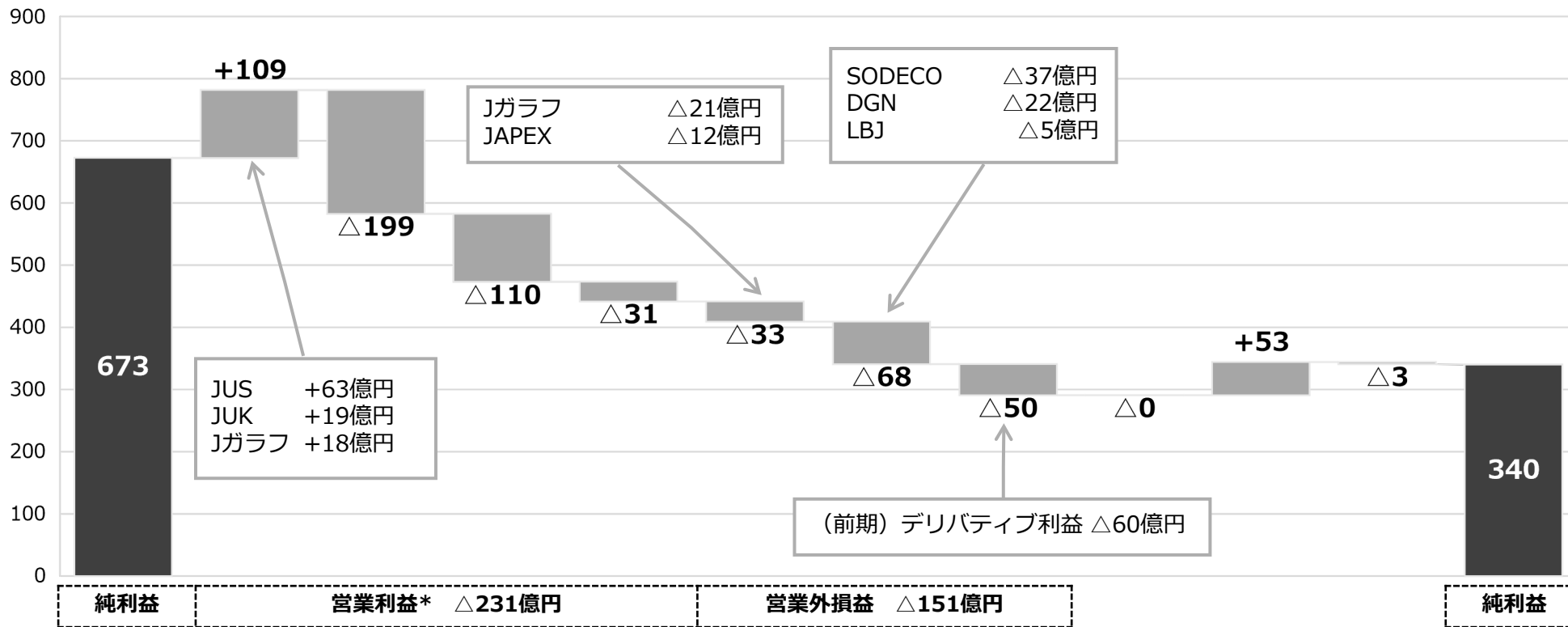
- 一般管理費 (人件費、デジタル関連支出) の増加 (-)
- 子会社における請負事業の減益 (-)

※ 上記事業部門に属さない営業利益 (CN分野、請負、石油製品・商品等) から本社管理費を控除した金額

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

# 純利益増減分析【前期比】

億円



23年3月期 (a)	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替差損益	持分法投資損益	その他	特別損益	法人税等	非支配株主利益	今回予想 (f) 8.9公表
23年3月期 (a)	19	411	246	△56	53	71	86	△0	151	5	
今回予想 (f) 8.9公表	128	212	135	△88	20	3	36	△1	98	9	

注) 営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

## キャッシュ・フローおよび負債の状況

単位：百万円	23/3月期 (a)	24/3月期 (f)	
	通期	通期	
		5.12公表	8.9公表
営業活動によるキャッシュ・フロー	104,581	98,293	84,655
税金等調整前当期純利益	83,084	45,500	44,700
減価償却費	14,257	27,788	26,587
生産物回収勘定の回収	18,295	38,482	41,581
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,723	△87,422	△116,539
有形固定資産の取得による支出	△35,973	△54,433	△84,136
生産物回収勘定の支出	△27,729	△39,756	△33,538
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,506	△18,417	△19,145
現金及び現金同等物の期末残高	186,166	178,619	135,137

有利子負債*1	10,413	10,149	10,149
EBITDA*2	85,316	77,392	74,177
EBITDA有利子負債倍率（倍）	0.1	0.1	0.1

\*1 有利子負債は、リース債務、退職給付に係る負債および偶発債務の合計額

\*2 EBITDAは、営業利益、減価償却費、投資キャッシュフローにおける利息および配当金の受取額の合計額

## 参考資料

---

1. 売上高内訳
2. 損益の状況
3. セグメント損益
4. 業績予想の前提条件（原油価格・為替等）
5. 2024年3月期予想における原油価格・為替等のセンシティブティ
6. 事業拠点および主要事業紹介
7. 統合報告書およびIR関連資料
8. 用語集

# 1. 売上高内訳：①E&P事業

金額：百万円	23/3月期 (a)		24/3月期		
	1Q	通期	1Q	通期(f)	
				5.12公表	8.9公表
売上高	7,266	56,063	10,724	91,724	93,514
原油販売量 (千KL)	79	695	152	1,589	1,591
原油売上高	7,251	55,703	10,608	88,964	91,549
国産原油販売量 (千KL)	67	238	50	206	206
国産原油売上高	5,640	20,760	3,700	12,410	13,255
海外原油販売量 (千KL) *1	7	436	97	1,364	1,367
海外原油売上高	1,192	33,084	6,532	75,431	77,110
買入原油販売量 (千KL)	5	20	5	18	17
買入原油売上高	418	1,858	375	1,122	1,183
天然ガス海外販売量 (百万M3) *2	0	11	10	95	86
天然ガス海外売上高	14	360	116	2,760	1,965
WTI (USD/bbl)	94.41	94.42	76.11	75.00	75.60
原油CIF (USD/bbl) *3	101.55	102.26	85.17	75.00	77.45

\*1 23/3月期は海外連結子会社 株式会社ジャペックスグラフおよびJapex (U.S.) Corp. の数値、24/3月期は株式会社ジャペックスグラフ、Japex (U.S.) Corp.およびJAPEX UK E&P Ltd.の数値

\*2 23/3月期は海外連結子会社 Japex (U.S.) Corp. の数値、24/3月期はJapex (U.S.) Corp.およびJAPEX UK E&P Ltd.の数値

\*3 原油CIF価格を参照した国内原油販売単価



# 1. 売上高内訳：②インフラ・ユーティリティ(I/U)事業

	金額：百万円	23/3月期 (a)		24/3月期		
		1Q	通期	1Q	通期(f)	
					5.12公表	8.9公表
売上高		36,009	213,657	36,398	147,305	150,567
天然ガス国内販売量 (百万M3)		231	989	202	996	976
天然ガス国内売上高		17,923	97,360	20,200	77,288	78,775
国産天然ガス販売量 (百万M3)		109	461	102	470	459
液化天然ガス販売量 (千トン)		49	340	30	223	218
液化天然ガス売上高		6,062	51,572	1,498	19,738	19,291
電力販売量 (百万kWh)		665	3,005	774	3,021	3,137
電力売上高		10,986	58,735	13,137	43,445	46,126
その他*		1,037	5,988	1,561	6,833	6,373
LNG(全日本CIF) (円/トン)		101,863	126,286	88,287	77,300	80,422

\* 液化天然ガスの気化受託収入などを含む

## 2. 損益の状況

	23/3月期 (a)		24/3月期		
	1Q	通期	1Q	通期(f)	
				5.12公表	8.9公表
売上高	<b>58,617</b>	<b>336,492</b>	<b>61,321</b>	<b>300,600</b>	<b>306,100</b>
E&P事業	7,266	56,063	10,724	91,724	93,514
インフラ・ユーティリティ事業	36,009	213,657	36,398	147,305	150,567
その他	15,341	66,771	14,199	61,570	62,018
売上原価	41,920	240,380	40,812	225,300	231,900
<b>売上総利益</b>	<b>16,696</b>	<b>96,111</b>	<b>20,508</b>	<b>75,300</b>	<b>74,200</b>
探鉱費	97	2,885	255	4,700	4,800
販管費	6,788	31,139	7,349	29,400	30,500
<b>営業利益</b>	<b>9,810</b>	<b>62,085</b>	<b>12,903</b>	<b>41,200</b>	<b>38,900</b>
営業外損益	<b>12,789</b>	<b>21,044</b>	<b>5,315</b>	<b>4,300</b>	<b>5,900</b>
受取利息	149	1,173	520	627	900
支払利息	△ 1	△ 5	△ 24	△ 363	△ 1,100
受取配当	47	3,520	57	3,719	3,600
持分損益	5,988	7,109	338	859	300
海投損繰入・戻入	-	△ 44	△ 15	△ 120	△ 100
為替差損益	6,748	5,332	4,764	-	2,000
その他	△ 142	3,958	△ 325	△ 422	300
<b>経常利益</b>	<b>22,600</b>	<b>83,130</b>	<b>18,219</b>	<b>45,500</b>	<b>44,800</b>
特別損益	△ 1	△ 46	△ 9	0	△ 100
税金等調整前当期純利益	22,598	83,084	18,209	45,500	44,700
法人税等	5,304	15,102	4,335	11,200	9,800
非支配株主に帰属する当期純利益	1,653	587	874	300	900
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>15,640</b>	<b>67,394</b>	<b>12,999</b>	<b>34,000</b>	<b>34,000</b>

### 3. セグメント損益

単位：百万円		23/3月期 (a)		24/3月期		
		1Q	通期	1Q	通期(f)	
					5.12公表	8.9公表
日本	営業利益	11,472	68,855	13,732	38,031	38,157
	持分法投資利益	291	326	136	319	291
北米	営業利益	227	4,210	1,952	10,474	10,543
	持分法投資利益	-	-	-	-	-
欧州	営業利益	△ 33	△ 170	△ 111	4,007	1,823
	持分法投資利益	-	-	-	-	△ 497
中東	営業利益	522	△ 112	447	1,478	1,741
	持分法投資利益	△ 3	△ 11	△ 1	△ 7	△ 5
その他 <sup>*1</sup>	営業利益	-	-	-	-	-
	持分法投資利益	5,699	6,793	202	547	510
調整額 <sup>*2</sup>		△ 2,378	△ 10,697	△ 3,118	△ 12,792	△ 13,366
連結損益算書計上額 <sup>*3</sup> 営業利益		9,810	62,085	12,903	41,200	38,900

\*1 持分法適用会社サハリン石油ガス開発株式会社およびEnergi Mega Pratama Inc.などを含む

\*2 調整額の主な内容は、セグメント間取引消去および全社費用（主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および試験研究費）

\*3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っている

## 4. 業績予想の前提条件（原油価格・為替等）

市況前提			（上段）2022年1月～2023年3月					通期
			（下段）2023年1月～2024年3月					
			1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
原油CIF (JCC) *1	USD/bbl	前期実績	-	101.55	115.31	105.93	89.98	102.26
		前回予想	-	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00
		当期実績・前提	-	<b>85.17</b> *2	<b>75.00</b>	<b>75.00</b>	<b>75.00</b>	<b>77.45</b>
WTI	USD/bbl	前期実績	94.41	108.65	91.76	82.85	-	94.42
		前回予想	75.00	75.00	75.00	75.00	-	75.00
		当期実績・前提	<b>76.11</b> *2	<b>76.27</b> *2	<b>75.00</b>	<b>75.00</b>	-	<b>75.60</b>
LNG（全日本CIF）	円/ト	前期実績	-	101,863	143,821	142,404	117,057	126,286
		前回予想	-	82,800	75,700	75,400	75,400	77,300
		当期実績・前提	-	<b>88,287</b>	<b>81,400</b>	<b>76,200</b>	<b>75,800</b>	<b>80,422</b>
為替	円/USD	前期実績	-	122.50	133.58	143.32	133.39	132.86
		前回予想	-	125.00	125.00	125.00	125.00	125.00
		当期実績・前提	-	<b>134.36</b> *2	<b>130.00</b>	<b>130.00</b>	<b>130.00</b>	<b>131.16</b>

\*1 原油CIF価格を参照した国内原油販売単価

\*2 実績値

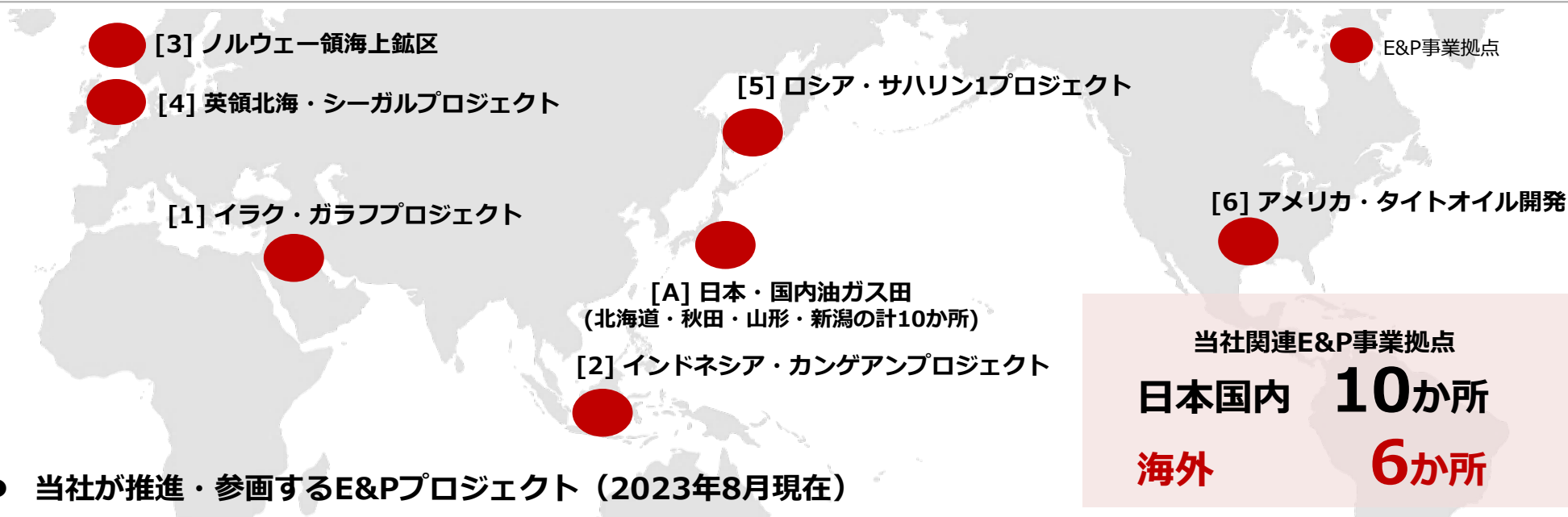
## 5. 24年3月期予想における原油価格・為替等のセンシティブティ

	24/3月期 2Q-4Q 前提	変動幅	影響額（百万円）		主な変動項目 + 増益効果/△減益効果
			営業利益	親会社株主に 帰属する当期純利益 又は当期純損失	
原油価格	原油CIF価格 USD 75.00/bbl	USD 1 /bbl の価格上昇	320	240	+ 原油・天然ガス販売 △ LNG調達コスト増
為替	130.00円/USD	1 円/USD の円安	570	320	+ 原油・天然ガス販売 △ LNG調達コスト増

### 【前提】

- ・ 持分法適用会社の損益変動は、上記の影響額に含まれない
- ・ 為替変動の影響に関して、上記に示したものの以外に、外貨建金銭債権債務の為替レート換算差額が発生  
また、実際の利益は原油価格や為替以外の様々な要因に影響される

## 6. 事業拠点および主要事業概況① E&P分野



### ● 当社が推進・参画するE&Pプロジェクト（2023年8月現在）

No.	油ガス田/プロジェクト名（オペレーター）	権益比率（当社Net）	生産種別	状況	生産量日量*1
A	日本・国内油ガス田（北海道・秋田・山形・新潟の10か所で当社が操業）	権益により異なる	原油・天然ガス	生産・開発中	非開示
1	イラク・ガラフプロジェクト（PETRONAS Carigali Iraq Holding B.V.）	30%（16.5%）	原油	生産・開発中	14.8万bbl*2
2	インドネシア・カンゲアンプロジェクト（Kangean Energy Indonesia Ltd.）	100%（25%）	原油・天然ガス	生産中	258万m <sup>3</sup> （1.5万boe）
3	ノルウェー領海上鉱区（Longboat JAPEX Norge AS*3）	権益により異なる	-	探鉱・開発中	—
4	英領北海・シーガルプロジェクト（Neptune E&P UK Limited）	15%（15%）	原油・天然ガス	開発中	（2023年度生産開始予定）
5	ロシア・サハリン1プロジェクト（Sakhalin-1 Limited Liability Company: S1LLC）	30%（4.59%）*4	原油・天然ガス	生産・開発中	非開示
6	アメリカ・タイトオイル開発（Marathon Oil Corporation、EOG Resources Inc.ほか）	権益により異なる	原油・天然ガス	生産・開発中	非開示

\*1: 2023年度1Q（海外プロジェクトは2023年1～3月）の日量生産量平均。\*2: 2023年4月～6月の日量生産量平均。

\*3: 2023年7月の資本参加（当社出資比率49.9%）完了に伴い社名変更 \*4: 2022年11月のロシア政府令によりサハリン石油ガス開発株式会社（SODECO）のS1LLC持分30%引受承認。

## 6. 主要事業概況② I/U分野 – ガス供給

### 当社の国内天然ガス供給ネットワークの特色

総延長**800**km超の高圧ガスパイプライン網

外航船受入に対応するLNG基地**2**か所

日本海側-太平洋側双方からのガス供給が可能

#### ● 国内ガス供給

- パイプラインによる国産ガス・LNG気化ガス供給
- LNGの受入・貯蔵・気化・送出
- LNGサテライト輸送（専用ローリー、内航船）
- 当社ガスパイプライン・LNG基地の第三者利用・受託業務など

#### ● 国内ガス供給の多様化対応

- 他の化石燃料からガスへの燃料転換対応
- 都市ガス会社と連携したエネルギーサービスの提案・提供

#### ● LNG調達

- タームとスポットを組み合わせた競争力のあるLNG調達

#### ● 海外LNG供給インフラ

- ガス需要が旺盛な東南アジアを中心とする、新規案件立ち上げなど
  - ✓ 事業化検討中：ベトナム北部LNG基地プロジェクト



## 6. 主要事業概況③ I/U分野 – 電力

拠点合計 **7**か所      出力合計 **1,389,550kW**  
 うち再エネ **6**か所      うち再エネ **209,550kW**  
\*出力合計値はGross

### ● 当社が開発・運営に参画する発電所（2023年8月現在）

No.	名称	所在地	種別	出力合計 (kW)	当社比率	状況
A	福島天然ガス発電所	福島県相馬郡新地町	ガス (LNG)	118万	33%	稼働中
1	網走バイオマス発電所2号機・3号機	北海道網走市	バイオマス (木質チップ)	1.98万	33.8%	稼働中
2	JAPEX北海道事業所メガソーラー	北海道苫小牧市	太陽光	0.18万	100%	稼働中
3	勇払太陽光発電所	北海道苫小牧市	太陽光	1.3万	20%	稼働中
4	田原バイオマス発電所	愛知県田原市	バイオマス (木質ペレット)	5万	39.9%	建設中
5	大洲バイオマス発電所	愛媛県大洲市	バイオマス (木質ペレット)	5万	35%	建設中
6	長府バイオマス発電所	山口県下関市	バイオマス (木質ペレット)	7.495万	39.9%	建設中

### ● その他再エネ関連への参画

- PHOTONサステナブルソーラー投資事業有限責任組合 (非FITを含む太陽光発電プロジェクトを対象に最大100億円を投資するファンドへの参画、当社出資比率50%)

[1] 網走バイオマス発電所 **BIO**  
2号機・3号機

[2] JAPEX北海道事業所  
メガソーラー **PV**

[3] 勇払太陽光発電所 **PV**



**LNG** [A] 福島天然ガス発電所



[4] 田原バイオマス発電所 **BIO**

[6] 長府バイオマス発電所 **BIO**

[5] 大洲バイオマス発電所 **BIO**

- ガス発電所
- 再エネ発電所
- 再エネ発電所 (建設中)



## 6. 主要事業概況④ CN分野

### ● 当社が推進・参加する主なCCS/CCUS関連の取り組み

#### 国内 2030年度までにハブ&クラスター型モデル事業確立

##### ➤ 当社における検討

- ✓ 当社油ガス田などのCO<sub>2</sub>貯留可能量調査
- ✓ 当社油ガス田操業における随伴CO<sub>2</sub>の再圧入検討

##### ➤ 企業間・業種横断的案件の実現可能性検討

- ✓ 北海道・苫小牧エリアにおけるCCUS事業実現可能性検討（出光興産・北海道電力との共同実施）
- ✓ JOGMEC「先進的CCS事業の実施に係る調査」公募にて苫小牧エリアにおけるCCS実現可能性調査を、出光興産・北海道電力と受託（2023年7月）
- ✓ JOGMEC「先進的CCS事業の実施に係る調査」公募にて東新潟エリアにおけるCCS実現可能性調査を、三菱ガス化学、東北電力、北越コーポレーション、野村総合研究所と受託（2023年8月）
- ✓ 新潟エリアにおけるCO<sub>2</sub>を有効活用した事業の可能性を、三菱ガス化学と検討

#### 海外 制度先進国案件での早期収益貢献&新興国検討案件

##### ➤ 当社における検討

- ✓ 北米やヨーロッパなどの制度先進国における、CCS/CCUS案件への参画検討

##### ➤ 企業間・業種横断的案件実現可能性検討

- ✓ インドネシア・スコワティ油田における二国間クレジットを活用したCCUSプロジェクトの事業性評価共同検討（プルタミナグループ・レミガスとの共同実施）
- ✓ インドネシア・スコワティ油田におけるCO<sub>2</sub>圧入試験実施に向けた共同スタディ契約を、JOGMEC・プルタミナグループと締結（2023年6月）
- ✓ マレーシアにおけるCCS共同スタディ(CO<sub>2</sub>地中貯留の実施を視野にした適地調査や技術的な検討をペトロナス、日揮グローバル(株)、川崎汽船(株)との共同実施、日本3社コンソは令和4年資源エネルギー庁補助金事業に採択）と連携した日本起点のCCSバリューチェーン構築共同検討実施にJFEスチールと合意（2023年6月）

#### 共通 ➤ 技術その他関連検討

- ✓ CN社会実現に向けたエネルギー輸送・供給インフラの技術課題検討（JFEエンジニアリング(株)との共同検討）

## 7. 統合報告書およびIR関連資料等のご案内

当社の統合報告書およびIR関連資料は、当社ウェブサイトの以下のリンクからご覧いただけます。

### 統合報告書

#### ◆ 統合報告書



<https://www.japex.co.jp/ir/library/integratedreport/>

最新号（統合報告書2022、2022年9月発行）は、  
以下のリンクから直接ご覧いただけます

[https://www.japex.co.jp/ir/uploads/pdf/JAPEX\\_IR2022\\_j.pdf](https://www.japex.co.jp/ir/uploads/pdf/JAPEX_IR2022_j.pdf)

### 開示資料アーカイブ

#### ◆ 決算短信

<https://www.japex.co.jp/ir/library/result/>

#### ◆ 決算説明資料

<https://www.japex.co.jp/ir/library/explanatory/>

#### ◆ 有価証券報告書・四半期報告書

<https://www.japex.co.jp/ir/library/report/>

### 業績情報など

#### ◆ 業績ハイライト（過去5期分） ※過去10年分CSVデータダウンロード

<https://www.japex.co.jp/ir/figure/pl/>

[https://www.japex.co.jp/ir/uploads/JAPEX\\_10yearFinancialData\\_j.xlsx](https://www.japex.co.jp/ir/uploads/JAPEX_10yearFinancialData_j.xlsx)

#### ◆ 株主還元（配当の推移）

<https://www.japex.co.jp/ir/stock/dividend/>

## 8. 用語集

### ■ 略語

BOE(D)	Barrels of Oil Equivalent (per Day)	石油換算バレル (日量)
CCS	Carbon dioxide Capture and Storage	二酸化炭素回収・貯留
CCUS	Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage	二酸化炭素回収・活用・貯留
CIF	Cost, Insurance and Freight	運賃、保険料込条件
CN	Carbon neutral	カーボンニュートラル
E&P	Exploration and Production	石油・天然ガスの探鉱・開発・生産
I/U	Infrastructure & Utility	インフラ・ユーティリティ
JCC	Japan Crude Cocktail	全日本平均原油輸入CIF価格
WTI	West Texas Intermediate	ウェスト・テキサス・インターミディエイト原油

### ■ 主要な子会社・持分法適用会社

Jガラフ	(株)ジャペックスガラフ	イラク・ガラフプロジェクト
EMPI	Energi Mega Pratama Inc.	インドネシア・カンゲアンプロジェクト
SODECO	Sakhalin Oil & Gas Development Co., Ltd.	ロシア・サハリン1プロジェクト
LBJ	Longboat JAPEX Norge AS	ノルウェー領海上鉱区
FGP	福島ガス発電 (株)	天然ガス火力発電事業

## 注意事項

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

Copyright: 本資料に含まれるすべての内容に関する著作権は、当社が有しています。  
事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控えください。

注)

- ・本資料においては、(a) は実績数値 (actual results) を、(f) は予想数値 (forecasts) を示しています。
- ・営業利益、経常利益、持分法投資利益、親会社株主に帰属する当期純利益の「△」表記は、各利益における損失を表しています。

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします。

石油資源開発株式会社 コーポレートコミュニケーション室 電話: 03-6268-7111

**JAPEX**

石油資源開発株式会社